

短期研修の農大生を激励(酪農)

短期研修の農業大学校1年生(酪農専攻)を訪問し激励しました

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 29 年 3 月 9 日 | 下関農林事務所畜産部(西部家保)

山口県立農業大学校では、講義のないこの期間を利用して、1年生を対象とした「短期研修」が県内各地で実施されています。研修期間は3日間程度で、この間、大学校では経験できない「農家さんの技術を知る」ことや、「将来の進路の参考とする」ことが目的となっています。

下関農林事務所管内において、畜産学科では酪農専攻1名の研修が行われています。

今回、研修先の竹永農場を訪問し、研修中の農大生を激励しました。農大生は、今日から4日間の研修に、期待を胸に目を輝かせて作業に取り組んでいました。

管内は、乳用牛は県内の頭数の約半数が飼養され、また、肉用牛も子牛生産を主体とする県内第2の産地です。しかしながら、高齢化のため、年々戸数の減少が止まりません。

下関農林事務所畜産部では、新規担い手の確保のため、こうした農大生の研修を側面から積極的に応援しています。



農大生と竹永洋幸氏(右側)



搾乳作業の実習

問合せ先

メール：a171073@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：083-766-1018